

| | | | |
|--------------|------------------|------------|------|
| 授業科目名 | 小児看護学実習(2300407) | | |
| 時間割名 | 小児看護学実習(70221) | | |
| 時間割担当 | 本庄美香 | | |
| 実施期 | 後期 | 単位数 | 2 必修 |
| 曜日・時限 | 集中 | | |

授業の目標・概要

既習の知識・技術を統合し、小児およびその家族の健康生活の向上を支援する看護援助の実践能力を習得する。看護援助の基本的な知識としての小児の発達の理解、日常生活の営みの理解は保育園実習で学びます。

学習の到達目標

1. 小児看護が機能する医療の場の特徴と看護の役割について述べることができる。
2. それぞれの医療の場における安全管理（感染・事故防止）のあり方が理解できる。
3. 小児看護の対象となる児の成長・発達過程が理解できる。
4. 小児の健康の回復・維持のために行われている治療・方法を述べることができる。
5. 小児の健康の回復・維持のための看護を実践できる。
6. 小児の健康問題（病態、治療、入院）が小児や家族の生活に及ぼす影響を理解できる。
7. 小児を取り巻く保健・医療・福祉・教育の役割および連携について理解できる。
8. 思考過程を整理して説明することができる。
9. 学習者として真摯な態度で実習に臨むことができる。

授業方法・形式

実習は2週間です。その内2日間を保育園での実習、6日間を病院実習とします。保育園実習はクラスに1人ずつ入り見学実習を行います。病院実習は学生1人につき、患児1人を受け持ち、看護を行います。

授業計画

- 1週目
- 月曜日 : 保育園実習
 - 火曜日 : 保育園実習
 - 水曜日 : 学内演習（カンファレンス：保育園実習での学び、振り返り）
 - 木曜日 : 病院実習（オリエンテーション、受け持ち患児決定）
 - 金曜日 : 情報収集
- 2週目
- 月曜日 : 看護過程の展開
 - 火曜日 : 看護過程の展開
 - 水曜日 : 学内演習（カンファレンス）
 - 木曜日 : 看護過程の展開
 - 金曜日 : まとめ 反省会

成績評価の基準

カンファレンスの発言内容、記録物、実習内容など総合的に評価する。

準備学習・復習及び授業時間外の課題

機能障害の病態生理、治療内容、方法及び検査の項目と正常値についての学習。
看護過程のデータベース（NANDA）の各領域の理解と一般的な事柄、正常値の記載をしておくこと。

履修上のアドバイス及び留意点

臨地実習はとにかく大変です（時間が限られているため）。インプット（知識の取り込み）とアウトプット（知識を基に看護を展開する）がバランスよく行われないと大変疲れます。時間のあるうち少しでも多くインプットしておきましょう。

教材・教科書

特になし

参考書

授業で使用したレジメや資料を持参してください。